

J0005 を救護するため捕獲しました

3月24日、豊岡市福田地区内において、昨年百合地地区人工巣塔で巣立ったJ0005（2008年生れ、メス）の負傷に関する目撃情報がありました。当公園職員により目視確認したところ、左脚骨折の疑いがありました。そして、捕獲・救護するためモニタリングを行っていました。

3月30日、同じ福田地区内水田で翼を広げて立ち上がれない状態のところを捕獲し、当公園に收容しました。現在は、骨折した場所を固定し、体力を回復させる治療を行っています。

平成21年度 子どものための野生復帰講座 参加者募集

コウノトリをはじめとする野生生物が住みやすい環境は、人にとってもよい環境です。コウノトリの野生復帰のフィールドとなる地域の人々は、「コウノトリ育む農法」など様々な取り組みの中でよりよい環境作りを進めています。「野生復帰講座」に参加して、コウノトリの郷公園や地域の人々の取組を体験してみませんか。みなさんの参加をお待ちしています。

- ◆対象者：小学校4年生～中学生
- ◆定員：30名
- ◆日程：平成21年4月25日～平成22年3月7日（全9回、各回3時間程度）
- ◆内容：コウノトリ育む農法の体験、コウノトリの飼育体験、ほか
- ◆参加費：無料（ただし、保険料として年間500円が必要です。）
- ◆申込方法：ホームページより、申込用紙をダウンロードしてお申し込みください。



コウノトリの羽数及び繁殖状況 (H21. 3. 31 現在)

1 飼育のコウノトリの羽数

	オス	メス	計
県立コウノトリの郷公園	32	36	68
附属飼育施設コウノトリ保護増殖センター	16	16	32
計	48	52	100

2 野外にいるコウノトリの羽数

	オス	メス	不明	計
放鳥コウノトリ	8	11		19
野外繁殖により増えたコウノトリ	1	6*	1	8
計	9	17	1	27

*J0005を含む

3 飼育下の繁殖状況

親鳥	親鳥	卵の状況 (個)						計	備考 (産卵数)
		巣の中	托卵	孵卵器	無精卵	中止卵	破卵		
新規ペア	第7ケージ	4						4	(4卵)
Tペア	繁殖ケージ1			3				3	(3卵)
Wペア	第1ケージ			3				3	(3卵)
計		4		6				10	(10卵)

4 放鳥コウノトリの繁殖状況

親鳥	卵等の状況 (個)						育雛状況 (羽)	備考 (産卵数)
	巣の中	無精卵	中止卵	破卵	死亡	不明		
♂J0275 × ♀J0228	2						2	百合地(ゆるじ)地区人工巣塔 (6卵)
♂J0391 × ♀J0294	4						4	戸島(としま)地区人工巣塔 (4卵)
♂J0405 × ♀野生個体				6			6	コウノトリの郷公園繁殖ケージ屋根 (6卵)
♂J0001 × ♀J0362	3						3	保護増殖センター前電柱上 (3卵)
計	9			6			15	4 (19卵)

(注) 親鳥J0275 × J0228の繁殖状況については、3/27に食べられたヒナが特定できないため、巣の中2個、ヒナ4羽にしています。

コウノトリ・サイエンスカフェ (鶴見カフェ) のお知らせ

- ◆話題提供者：吉沢 拓祥 (県立コウノトリの郷公園飼育員)
- ◆日時：平成21年4月19日(日) 16:00～17:30
- ◆場所：サンストークアベニュー内なごみ茶屋 (豊岡市中央町3-37)
- ◆定員：約25名 (申し込みは不要です。当日、会場にお越し下さい)
※コーヒー等の飲み物・ケーキ代 500～600円程度が必要です。
- ◆主催：県立コウノトリの郷公園・豊岡駅通り商店街振興組合
兵庫県・コウノトリと共生する地域づくり協議会
- ◆お問い合わせ先：県立コウノトリの郷公園 担当：菊地 直樹
TEL: 0796-23-5666 FAX: 0796-23-6538
E-mail: nkikuchi@stork.u-hyogo.ac.jp



問い合わせ先
兵庫県立コウノトリの郷公園
〒668-0814 豊岡市祥雲寺字二ヶ谷128番地
TEL: 0796-23-5666
FAX: 0796-23-6538

E-mail: kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
URL: http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
開園時間: 9:00～17:00
休園日: 毎週月曜日(休日に当たるときはその翌日)・12月28日～1月4日
☆リサイクルペーパーを使用

いきもの通信 No.140



今年の繁殖は

3月に入り、コウノトリの繁殖状況にいろいろな変化が見られました。中には、新たなペアもできています。平成21年3月31日現在の状況をお知らせします。

今年初めての孵化 百合地地区人工巣塔で

先月号に掲載しました、この人工巣塔において6個産卵したJ0275(2000年生れ、オス)とJ0228(1998年生れ、メス)の親鳥が、3月11日に卵の殻を巣外に出していることを確認しました。孵化している可能性が出てきましたので、翌日に高所作業車を使用して巣内を観察したところ、2羽のヒナが孵化しているのを確認しました。



写真1 4羽のヒナと2個の卵

3月19日に再度、巣内を観察したところ、さらに2羽が孵化し4羽のヒナと2個の卵を確認しました(写真1)。そんな中、3月27日に親鳥が死亡したと推定されるヒナを食したのを寺坂好司氏(赤穂市在住)が撮影された写真から確認しました。親鳥が死亡したヒナを食することは、飼育下でもまれにみられます。

百合地地区人工巣塔外の状況は、下表のとおりです。

繁殖場所とペア	3月の様子
戸島地区人工巣塔 J0391(2004年生れ、オス) J0294(2001年生れ、メス)	巣塔南東側の尾根からの撮影により、2月28日に1個、3月10日に4個の産卵を確認しました。
赤石地区人工巣塔 J0389(2004年生れ、オス) J0384(2004年生れ、メス) *昨年、福田地区人工巣塔で繁殖	3月に入り、巣に伏せる行動を始めるようになりました。産卵の可能性があるため、3月17日に巣塔北東側の山中より観察しましたが、黄砂等の影響により確認できませんでした。ただし、親鳥の行動から産卵の可能性が高いと思われます。
保護増殖センター前電柱上 J0001(2006年生れ、オス) J0362(2003年生れ、メス)	3月に入り、豊岡市野上のコウノトリ保護増殖センター前の電柱上で営巣を始めるようになりました。3月11日に関西電力(株)の協力を得て、巣材撤去(注1)を行いました。しかし、同じ電柱上での営巣が続き、3月17日に電柱上の巣を危険防止のため1m高く移動し、営巣誘導をしました。3月24日に巣内を観察したところ、3個の産卵を確認しました。

(注1) 感電・停電事故防止の為